

津山工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	日本漢字能力検定
科目基礎情報					
科目番号	0058		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	総合理工学科(機械システム系)		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	参考書: 国語辞典, 漢和辞典, 日本漢字能力検定 2 級以上に対応した問題集 (どの出版社のものでもよい), 漢検 (日本漢字能力検定協会) 公式ホームページ http://www.kanken.or.jp/				
担当教員	江原 由美子				
到達目標					
学習目的: 常用漢字や熟語等の日本語知識について理解を深め, それらを適切に活用して表現する力を高める。					
到達目標 1. 漢字が関わる日本語の知識を増やし, それらを適切に用いて表現できる。 ◎ 2. 効果的な説明方法や手段を用いて, コミュニケーションを図ることができる。					
ルーブリック					
	優	良	可	不可	
評価項目1	日本漢字能力検定 2 級以上に優秀な成績で合格する。	日本漢字能力検定 2 級以上に良好な成績で合格する。	日本漢字能力検定 2 級以上に合格する。	日本漢字能力検定 2 級以上に合格できない。	
評価項目2	日本漢字能力検定 2 級以上の漢字の知識を活かし, より良いコミュニケーションを行うことができる。	日本漢字能力検定 2 級以上の漢字の知識を活かし, 円滑なコミュニケーションを行うことができる。	日本漢字能力検定 2 級以上の漢字の知識を活かし, コミュニケーションを行うことができる。	日本漢字能力検定 2 級以上の漢字の知識を活かしたコミュニケーションを行うことができない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	一般・専門の別: 一般 学習の分野: 国語 基礎となる学問分野: 人文学 / 言語学 学習教育目標との関連: 本科目は「⑦のコミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。 授業の概要: 漢字の学習を自主的に行い, 日本漢字能力検定 (漢検) の受検でその成果を試す。				
授業の進め方・方法	授業の方法: 担当教員の指導のもとに, 日本漢字能力検定の受検に対応した問題演習を, 各自が自主的に行う。 成績評価方法: 日本漢字能力検定 2 級以上に合格した者は, 担当教員に申し出るとともに, 学年末試験の最終日までに教務係へ単位取得申請を行うこと。教務委員会で単位認定を審議し, 合・否で評価する。				
注意点	履修上の注意: 所定の期日までに, 選択科目履修願を提出すること。また, 本科目は資格取得による科目であり, 単位の取得には単位取得申請手続きを行うことが必要である。選択科目 (自発的学習科目を除く) の内, 教務委員会で認定される単位数は, 一般科目については 4 単位以内である。 履修のアドバイス: ・事前に行う準備学習として, 漢検 (日本漢字能力検定協会) 公式ホームページ等を見て, 自分のレベルをチェックしておくこと。 ・公開会場 (県内は岡山市と倉敷市に設置) で個人受検をすること。2022年度の公開会場の検定日は, 第 1 回が 6 月 19 日 (日), 第 2 回が 10 月 23 日 (日), 第 3 回が 2023 年 2 月 12 日 (日)。 ・2 級は, C B T 受検も可能。CBT 試験会場は, 県内では岡山市と倉敷市の他, 津山市 (PC らいふパソコンスクール津山校テストセンター: 津山市大手町 1-1 NTT ビル 1F) にも設置されている。 基礎科目: 国語 I (1 年), 国語 II (2), 国語 III (3), 国語 IV (4) 関連科目: 漢字が関わる全科目 受講上のアドバイス: ・2 級は, 高校卒業・大学・一般程度のレベル (すべての常用漢字について, 読み書きや, 文章中での適切な使用ができるレベル) であるが, 実力で合格することは難しく, 受検対策の勉強が必要である。 ・1 級は常用漢字 (2136 字) を含む約 6000 字, 準 1 級は常用漢字を中心とした約 3000 字が対象漢字となる。どちらの級も大学・一般程度のレベルとされているが, 合格するにはかなりの努力が必要である。 ・以上をふまえ, 自身の漢字能力と受検日に合わせて, 学習を進めること。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
選択					
授業計画					
前期	1stQ	週	授業内容	週ごとの到達目標	
		1週	日本漢字能力検定についてのガイダンス。	単位認定の要件について理解する。	
		2週	担当教員の指導のもとに, 日本漢字能力検定 2 級以上の受検に対応した問題演習を, 各自が自主的に行う。	受検日を考えて勉強を進めることができる。	
		3週	同	同	
		4週	同	同	
		5週	同	同	
		6週	同	同	
		7週	同	同	
	8週	(前期中間試験)			
	2ndQ	9週	担当教員の指導のもとに, 日本漢字能力検定 2 級以上の受検に対応した問題演習を, 各自が自主的に行う。	受検日を考えて勉強を進めることができる。	
		10週	同	同	
		11週	同	同	
12週		同	同		

		13週	同	同
		14週	同	同
		15週	(前期末試験)	
		16週	担当教員の指導のもとに、日本漢字能力検定2級以上の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。	受検日を考えて勉強を進めることができる。
後期	3rdQ	1週	担当教員の指導のもとに、日本漢字能力検定2級以上の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。	受検日を考えて勉強を進めることができる。
		2週	同	同
		3週	同	同
		4週	同	同
		5週	同	同
		6週	同	同
		7週	同	同
		8週	(後期中間試験)	
	4thQ	9週	担当教員の指導のもとに、日本漢字能力検定2級以上の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。	受検日を考えて勉強を進めることができる。
		10週	同	同
		11週	同	同
		12週	同	同
		13週	同	同
		14週	同	同
		15週	(後期末試験)	
		16週	合格者に対する、単位取得申請手続きの説明。	期日までに単位修得申請手続きを行う。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0